

# オプトアウト

## 【研究課題】

胸骨圧迫による肋骨骨折が生じる背景因子と蘇生後の経過に与える影響の検討

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 奈良県立医科大学 救急医学講座

研究責任者 助教 川井廉之

## 【研究期間】

奈良県立医科大学学長の許可取得後～2022年3月31日

## 【対象となる方】

2015年6月から2019年5月の間に院外にて心肺停止となり心肺蘇生法をうけ奈良県立医科大学 高度救命救急センターに搬送された方のなかで胸部CT検査を受けた方。

## 【研究の目的】

心肺蘇生法のなかで胸骨圧迫は重要な要素ですが、胸壁の損傷が生じる背景因子は十分な検討が行われていません。また、胸壁損傷によって蘇生が成功後に起こる影響も明らかになっていません。

本研究はこの問題に対して、すでに撮影されたCT検査の画像所見から胸壁損傷を調べ、蘇生を受けた方の背景や蘇生法の継続時間を検討し、どのような場合により多く骨折が生じるかを調べます。また、骨折が生じた場合に、蘇生成功後の経過中に肺炎の発症に及ぼす影響を調べます。より骨折が生じやすい背景、肺炎が発症しやすい骨折の形態を明らかにすることで、よりよい心肺蘇生法と蘇生後の治療に役立つ情報を得ることができると考えられます。

## 【研究の方法】

この研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会の承認を受け、奈良県立医科大学学長の許可を受けて実施するものです。通常の診療の中で得られる情報を用いて研究を行います。とくに骨折については、すでに撮影された胸部CT画像をもとに診断します。

対象となった方に新たにご負担いただくことはありません。また、謝金はございません。

## 【個人情報の保護】

この研究ではプライバシーが保護されるように、個人が特定されないような単なる数字を割り当てて集計を行います。この研究で個人のお名前が出たり、追加のお問い合わせを行ったりすることは一切ありません。また個人情報の管理については外部に漏洩しないよう厳重なセキュリティのもと行われます。

しかし、ご自身の情報、ご家族の情報が研究に使われることを快く思われない方については、本研究にデータを用いないようにすることが可能です。

つきましては、ご自身、ご家族が研究対象に該当すると考えられ、かつ研究に対しての拒否の意思をご表明になる方につきましては、下記までお電話、もしくは e-メールにてお問い合わせください、なお、ご相談いただいたことについても秘密は厳守いたしますし、今後当院で診療を受けられる際に不利益をもたらすことも一切ありませんので、お気軽にご連絡下さい

**【問い合わせ先】**

奈良県立医科大学 救急医学講座 川井廉之

住所:奈良県橿原市四条町 840 番地

電話:0744-22-3051(内線 3443) FAX:0744-22-5992

E-mail [emer@naramed-u.ac.jp](mailto:emer@naramed-u.ac.jp)